牛鬼会議ワークショップ

9月号

キャリッジ新聞

令和６年７月27日（土）

「令和６年度牛鬼会議第１回ワークショップ命を守る・暮らしを守る南海トラフ地震~宇和島市中心地域の津波避難を考える」を開催した。

開催場所となった宇和島市役所の２階会議室には、高校生、市民、外国人実習生、行政関係者を含めた６０名以上の方が集まり、宇和島市内で津波が起こった場合を想定し、津波からの避難についてアイデアを出し合った。

５５分。大津波警報が発令されてから津波が宇和島市内に到達するまでのこの５５分間に、海抜１０メートル以上の「津波災害警戒区域外」へ避難するには。偶然、「きさいや広場」に野菜の買い物をしていた７０代の女性、弁天町にある勤務先の会社で、事務作業中だった３０代男性、市内の高校から自転車で帰宅中に、コンビニでアイスを食べていた高校生、はじめて宇和島に観光に訪れ天赦園を見学中だった２０代女性など与えられた条件と宇和島市内のハザードマップを参加者たちが囲み、熱心に現場の状況を組み立て、「その時」に生き残りをかけた最善策を探す。この模擬実験で見えてきたこととは…？

河内中サロン　なまずの学校

令和６年７月３日（水）

社会福祉協議会さんのタオル体操の後、紙芝居形式の防災カードゲーム「なまずの学校」を実施。約２０名の方が楽しみながら取り組んでいた。実際に火災が発生した方からの体験談や、質問など西日本豪雨で被災経験のある方々だったこともあり、熱心に話を聞いていた。

天神校区老人クラブ　防災講演会

令和６年７月４日（木）

南海トラフ巨大地震臨時情報が発令されると、天神公民館に他の地区から避難者がくることを伝えた。非常持ち出し袋の中身で、用意しておくといいものを紹介し、災害時のトイレについても少しふれ、東日本大震災でのことや阪神淡路大震災の時の実際にあった話をした。その後、宇和島市作成のマイタイムラインシートをお渡しし、考えてもらった。

100万人の線香花火ナイト

災害でお星さまになった人や大切な方へ線香花火を灯しながら、語り合い想い合える時間を過ごしました。

夕方の準備から、たくさんの中高生や一般の方ボランティアに来ていただき、早めに準備を終えることが出来ました。

昨年度から、線香花火ナイトは実行委員会ができ運営することになりました。毎年、準備に時間がかかりますが、この日の線香花火を見るとすべてが報われた気持ちになります。

ゆっくりした時間を線香花火を灯しながら過ごすことができ、みなさんのこころが一つになった瞬間でしてした。

七夕ということで短冊に願いも込めて。

サロンお世話人交流会

令和６年７月９日（火）

宇和島市社会福祉協議会主催の【吉田・三間地区令和６年度ふれあい・いきいきサロンお世話人交流会】に参加してきました。当センターも毎月『茶話会』を開催し、いろいろな催しを考えています。

先日のサロンの防災講座でご一緒した方もいて話が盛り上がりました。また、社協さんから貸し出し品にあるゲームの体験もさせてもらいグループで競い合い楽しみました。少し汗をかくくらいの運動で今度茶話会でやってみようかな♬

認知症サポーター

令和６年７月３日（水）

『認知症サポーター講座』in吉田中学校

社会福祉協議会の方から「家族や身近な人が認知症になったら、何をしてあげたいですか？」という問いについて班で意見を出し合い、その後「自分が認知症になったらどうしてほしいですか？」という問いがあった。真剣に「考えているつもりでも、「家族が」と「自分が」について少し意見が違い、考えやすかった。

生徒からは、「近所の方などに普段から声かけをして、困ったことがないかなどを気に掛けます。」という感想があった。

ブルーサンタ２０２４

令和６年７月２７日（土）２８日（日）

７月は海に感謝し、海を綺麗にする月間。当プロジェクトも２日間、市民ボランティア一般市民、漁協漁業者、行政が一丸となり海岸清掃を行った。

ブルーサンタ２０２４in吉田町白浦には６７名、津島町近家には５４名が集まりマイクロプラなども拾った。回を重ねる毎にゴミは減り参加者は増えてきている。

プロジェクトは、既に海に関わっている人に加え、新しく「海の守り人」をつくる目的がある。また来年違った海岸で新たな守り人が誕生する。

御殿内地区防災士スキルアップ

令和6年8月25日(日)

前回は水害対策コース・地震津波コースなどを行い、今回は地震津波対策コースと避難所対策コースを吉田町御殿内集会所で行った。防災士や元消防士20名が集まった。宇和島NPOセンターに依頼があり今回初めてという【災害時のお口のケア】の話をした。「非常用持ち出し袋の中にお口のケア用品を入れていますか？」という問いに手を挙げたのは1名だった。持ち出し袋といえば水や防災食・トイレに目を向けがちですが、お口のケアが大切という話をした。「水が出ないと歯磨きができない」という声があるが、ペットボトルのキャップ1杯の水で歯磨きができるという説明をすると興味を引いた。

家具や柱に見立てた段ボーで、下敷きになった人を助けるための行動を習った。身近にあるもので使えるものが沢山あるとや、家具転倒防止では器具を壁にくっつけて設置することを知った。

自分の住む地区で、このような勉強会をしてくれていると心強い。ほかの地区にも広がっていくといいなという持った。

倒壊した家の中から人命救助

折り畳みトイレ

家具転転倒防止

茶話会

8月の茶話会は「色彩心理セッション」

リブカラー認定色彩心理セラピストの井上幸子さんをお招きして色というツールを使って「人を元気にする」ということで14名の方が参加してくれました。

12色の中から3色選び、その色の意味について話を聞き中には涙を流す方もいました。最後に、今後取り入れるといい色を教えてくださり「自分自身を変えることができるかなぁ」とお友達同士で話していました。

AGFさんからご提供のコーヒーなどを飲みながら、待ち時間もお喋りが弾んでいました。

女性はこういう心理や占いに興味を持たれている方が多いので、またぜひ行いたいです。

BOUSAIゼミな～る実行委員会

※公益財団法人ノエビアグリーン財団2023年度助成事業

BOUSAIゼミな～る実行委員会は全国から集まる高校生が主体となり、各高校の防災活動の取り組みや近い将来起こるであろう大規模災害を想定し、何を準備しておくべきかを議論し被災地と未災地を繋ぎ自分事化していく活動をしている。

第5クールとなる今回は66名の応募があった。

NPO団体紹介

うわじま虹色ツーリズム

「宇和島を元気にしたい」を目標として活動されている団体さんです。各種の研修会やイベントに積極的に参加し、都市農山漁村交流事業（グリーンツーリズム）にも深く関わりをもち地域掘り起しを担いまた積極的な事業推進をすることによって、自分自身また団体としてのレベルアップにつなげたい。基本的には、体験型観光を目指し漁家民宿を中心に市内各所で活動を実施している。

宇和島市内全域に会員が散らばっているため、内容によって色々な体験ができます。自然体験・海の体験・畑の体験・市街地の体験・昔の生活体験等々。

自分達のレベルアップの為、他団体とのタイアップや交流を実施していきます。入会自由ですのでいつでも見に来て下さい。

特定非営利活動法人
宇和島NPOセンター
〒798-3703
愛媛県宇和島市吉田町東小路甲71-1
0895-49-3563
info@uwajima-npo-center.jp
賛助会員募集中